

全体プログラム

		メイン会場		各ブロック会場	
10月29日(土)	午前	ふれあい広場 10:00~17:00		交流パーティー	
	午後				
10月30日(日)	午前	火の国アピール、引継式 13:30~14:30 ボランティアトーク 14:30~15:30 閉会式 15:30~15:40		テーマ別の集い (分科会/41テーマ)	交流広場 ブロックごとに 時間が 異なります
	午後				

印のイベントは、当日でも参加いただけるものです。入場は無料です。
印のイベントは、参加募集を終了しています。

特集

第14回全国ボランティアフェスティバル

現在、全国各地で多くのボランティアが活躍しています。その活動は、災害救援や保健・医療・福祉の支援、さらには、環境保全や国際協力などさまざまな分野に広がりを見せています。

県では、この大会の開催をきっかけに、県民の皆さんのボランティアに対する理解と関心が深まり、その活動が一層盛んになることを目指しています。

みんなでボランティアの輪を広げていきましょう。

メイン会場と県内6ブロックで開催します。

ふれあい広場、交流広場とは
ボランティアをより身近に感じてもらえる「ボランティア体験コーナー」やボランティア・市民活動を紹介するコーナー、地元の特徴ある「人、物、食」を中心とした「おもてなしのコーナー」など楽しい催し物が盛りだくさん。
見て、食べて、そして、体験してください！



メイン会場

30日(日)13:30~15:40
熊本市市民会館(熊本市)



プログラム
火の国アピール、引継式 13:30~14:30
アトラクション
県立盲学校アンサンブル部による演奏
ブロック会場からの報告 など
ボランティアトーク 14:30~15:30
八代亜紀さんと葉祥明さんに、自らのボランティア活動などについて、潮谷知事の進行でお話をさせていただきます。



八代 亜紀さん 葉 祥明さん 潮谷義子知事
閉会式 15:30~15:40

メイン会場

ふれあい広場
29日(土)10:00~17:00
グランメッセ熊本(上益城郡益城町)
熊本の特産品、おいしいものがいっぱい。また、テレビなどで子どもたちに人気のキャラクターも来場！大会と一緒に盛り上げます。

県北ブロック

交流広場
30日(日)9:00~14:00
湯の端(はた)公園、
八千代座(やちよざ)など(山鹿市)

阿蘇ブロック

交流広場
30日(日)9:00~16:00
阿蘇市阿蘇総合センター
(阿蘇市)

県央ブロック

交流広場
30日(日)10:00~17:00
熊本城、熊本市市民会館など
(熊本市)

天草ブロック

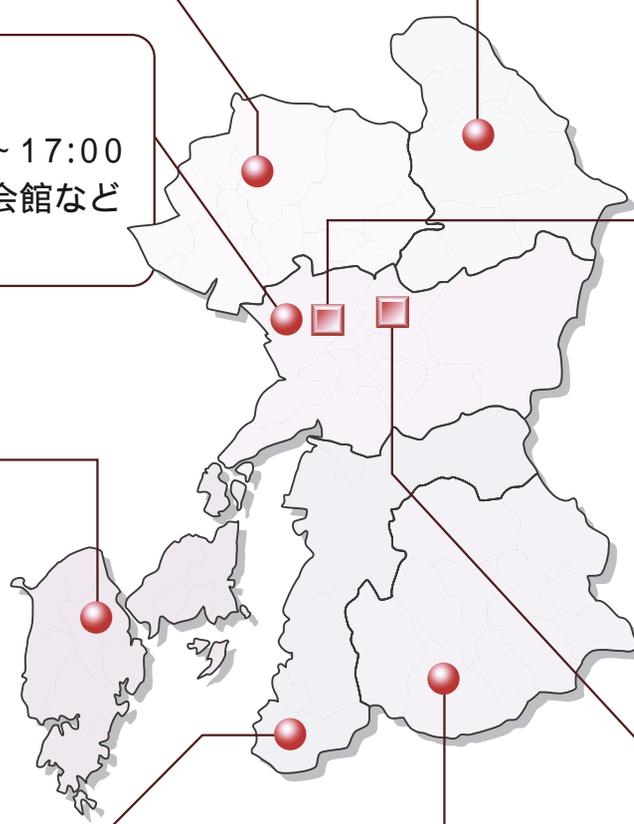
交流広場
30日(日)
9:30~15:00
本渡市体育館、
本渡市民センター
(本渡市)

県南ブロック

交流広場
30日(日)9:30~16:00
水俣市立総合体育館
(水俣市)

人吉・球磨ブロック

交流広場
30日(日)9:00~15:30
人吉市カルチャーパレス
(人吉市)



ぜひ、あなたも
参加しませんか

10月開催 情報一覧

この大会は、全国からのお客さまへのお土産作りをはじめ、お出迎えやご案内など、約2,000人の運営ボランティアに支えられています。

大会当日、全国のボランティアの方々と交流することも立派な「おもてなしボランティア」です。ぜひ、会場へお出かけください。ここでは、今からでも参加いただける行事をまとめてご紹介します。



運営ボランティアによるお土産のお手玉作り

Table with 5 columns: 開催日, 時間, 会場, 内容, お問い合わせ先. It lists various events categorized into '主催事業' (Main Events) and '協賛事業' (Sponsored Events) across different dates and locations in Kumamoto.

お問い合わせ先 実行委員会事務局 ☎ 096-324-5456 FAX 096-324-5427
電子メール vof@kumashakyo.jp ホームページ http://www.vf-kumamoto.jp/

広がれ！
ボランティアの
輪

第2回 子どもとお年寄りの交流 産山村子どもヘルパー活動

お年寄りとの触れ合いを

久住連山を一望できる豊かな自然に囲まれた阿蘇郡産山村立山鹿小学校(佐藤増夫校長)。全校児童七十六人のこの小学校では、総合的な学習の時間などを利用して、一人暮らしのお年寄りを対象にした「子どもヘルパー活動」に取り組んでいます。



自宅訪問(窓ふき)

活動しているのは、四、六年生全員の四十二人。民生委員やシルバヘルパーと一緒に

緒にお年寄りを訪ね窓ふきや草取りなどを手伝う「自宅訪問」や、公民館でお年寄りと一緒にお手玉などの昔の遊びやミニゲームを行う「ふれあいサロン」などを行っています。

手紙から「直接顔の見える活動」へ

きっかけは、平成九年度から産山村社会福祉協議会の「やまびこネットワーク事業」に参加し、一人暮らしのお年寄りに手紙を書く活動を行ったこと。その後、「直接顔が見える活動をしたい」という子どもたちの希望で、十二年度から子どもヘルパー活動が始まりました。

「おいちゃんおばあちゃんが笑顔で喜んでくれてうれしかった」「お手伝いの後、昔の話や



山鹿小学校の子どもたち

学校の事など、一緒にお話しする時が一番楽しい」と、子どもたちはお年寄りとの触れ合いを楽しみながら、この活動にやりがいを感じています。「六十五歳以上の方が三十分を超えてこの村で、子どもたちが高齢化や福祉について関心を持ち、自主的に行動できるようにしてほしい」と筑紫聖文(ちくしきよみかみ)教頭先生は話します。

さらに広がる「子どもヘルパー活動」

山鹿小学校では、昨年からは、毎週水曜日の朝の約十分間、校庭の清掃を行う「ボランティア」という活動が子どもたちの中で自発的に始まりました。「まず、自分たちの学校からきれいにしたい」と、これからは、家の近くでも、困っているお年寄りがいたら助けてあげたい」と子どもたち。中学校に進学した後も、「シルバー活動」として継続されるこの「子どもヘルパー活動」。着実にボランティアの輪が広がりをみせています。



ふれあいサロン(ミニゲーム)